富雄だより

第39号
発行
富雄地区自治連合会
広報委員会
印刷
実同印刷株式会社

“気づき”と“思いやり”
～子ども達に教えられる～

富雄地区自治連合会
会長 安達 孝雄

明けまして、おめでとうございます。輝かしい新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年、富雄地区は「学校安全ボランテイア活動」の文部科学大臣表彰を受けました。改めて皆様に心より御礼を申しあげます。

楓ちゃん事件以来6年間、見守り活動は暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も続けられ、まちづくりにも大きく貢献しました。この安全・安心まちづくり活動が、持続可能性を高め地域の文化として定着し継承されていくことを望みます。

さて今年は富雄地区で新たに三つのプロジェクトを推進します。

まず、行政のご指導を頂きスーパー中村屋と提携、日常の買い物や安否確認など高齢者の生活不安解消、育児中の母親支援、地産地消と月ヶ瀬地区ほか市東部地場産業の振興に取り組みます。

最近、NHK報道で関心を呼び起こした「無縁社会」も、決して「無援社会」であってはならず、高齢者の所在不明や独居老人・老老介護問題から目を反らさず取り組むことが私たちの使命ではないでしょうか。

私は昨年、楓の風フォーラムで「子どもを語ることは：社会を語ること、希望を語ること、富雄の未来を語ること」と申しあげました。子ども虐待の背景は複雑ですが、育児ストレスと孤立に苦しむ母親を周りの人が気づき思いやることができていれば、多くの母親が救われたと思います。キーワードは気づきと思いやりです。子ども達が登下校の集団行動を通して、互いを思いやる心が芽生えつつあることに教えられています。

二つ目は「蛍舞う地域再生プロジェクト」です。子ども達と一緒に故郷富雄の愛着心を深め、命の大切さと環境問題を考えます。ビオトープの工事も始まっています。

三つ目は富雄駅前の平和橋～新富雄橋間の両岸に歩道を設け、通学路と生活道路の安全確保です。

私は、地域の安全はもとより、子どもや高齢者問題は地域という面で支え守ると申しあげて参りましたが、面でなければ支え守れないとも思っています。

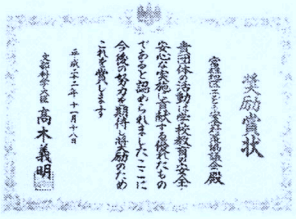
4月には地域に開かれた新しい学校運営を目指す学校運営協議会が、富雄北小学校でスタートします。今年も皆様と共に、住みよいまちづくりに取り組んで参りたいと思います。

見守り安全活動が文部大臣表彰を受けました!!

表彰状を受け取る安達会長

奨励賞をいただきましたが、二つの意味があります。

一つ目は、地域・学校・保護者が一体となって、長く見守りを続けてきたこと、二つ目は、今の時代だからこそ更に続けてほしいとの意味合いがあります。



奨励賞状

富雄地区子ども安全推進協議会殿

貴団体活動は学校教育安全安心実施に貢献する優良なものであると認められましたここに今後の努力を期待し奨励のためこれを賞します

平成二十二年十一月十八日

文部科学大臣 高木義明

授賞をよい機会としてより多くの参加で負担軽減を図りつつ継続取組みを図りたいと思います。

富雄地域安全推進協議会
子ども安全部会長　飯塚 晃弘

大谷督氏　旭日小綬章に輝く

大谷先生は奈良市議会議員として昭和42年から平成21年まで42年間、奈良市と奈良市民の為に貢献され、昨年11月8日、皇居において天皇陛下よりねぎらいのお言葉を賜り「旭日小綬章」を授与されました。先生と先生を支えて来られた奥さまに、お祝いとお礼、ご慰労の言葉を捧げ永く地域の誇りに致したいと存じます。

先生は奈良国体の開催、西部図書館や富雄公民館の建設、消防行政の充実、布部ダム建設などに尽力、議会にあっては月ヶ瀬・都祁合併委員長など特別委員長を歴任、議場におけるご発言は格調高く静寂と緊張感に包まれたとお聞きしております。

一方、昭和46年、ボーイスカウト奈良第17団を結成され、団委員長、育成会会長として青少年の健全育成に尽くされ、先生を敬慕する現役員さんは、先生が「正直なやんちゃ坊主だった」と表現される教え子さん達です。

楓ちゃん事件が起きたとき、我々は先生の適切なアドバイスと優しさに支えられ、事件後の対策を誤ることなく乗り越えられました。慈父の眼差しで見守って頂いた集団登下校を通じ、子ども達に「相手を気遣い思い遣る心」を持つ若い芽が育っています。

これからはご健康第一、そして奥さま孝行を優先され、地域にも引き続きご指導を賜りますようお願いを申しあげます。

（安達孝雄）

平成23年度の取り組み
蛍（ホタル）プロジェクト

飯塚 晃弘

「富雄にホタルを」を目指し、平成22年に発足したホタルプロジェクトも　ビオトープづくりが完了し、いよいよ飼育に向けて歩みはじめました。

ビオトープでホタルを飼育するのは、本年秋からとなります。

まず、ホタルの餌であるカワニナをビオトープで育ててカワニナが一杯育てば蛍も一杯育ちます。カワニナ飼育が鍵となりますので、それに向けて頑張ります。

螢プロジェクトによせて

奈良県議会議員　荻田 義雄

あけましておめでとうございます。皆様には2011年の新春をさわやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと富雄自治連合会の皆様より「命を大切にする富雄」を実現するため、地域を流れる富雄川を命と水辺環境を守り、心の癒しを体感できる河川にしたいとして、ホタルの自生を目指すお話をいただきました。

そして6月議会で荒井知事にホタルが自生できる水辺環境の整備について質問させていただき、橿原市昆虫館の学芸員にもご協力いただきホタルの自生に向けたビオトープ作りが具体化してまいりました。

全国的にみると下関市では「ホタル教育」が先行しており（1994年より）、ホタルの世話に携わった子供たちの心が優しくなる効果が現れたり、ホタルを介して無理なく自然と調和し、親と子の関係、人とのつながり、地域との連携、地域コミュニティが深まるといった効果が出ているそうであります。

私は、富雄地域の「命を大切にする富雄」の実現に向けて地域の方々と一緒になって最善の努力をして参ります。

本年、皆様のご多幸と御隆盛を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。